

ハンゲシャシントウ

# 〔東洋〕半夏瀉心湯 エキス細粒

## 【禁忌】(次の患者には投与しないこと)

- 1) アルドステロン症の患者
- 2) ミオパシーのある患者
- 3) 低カリウム血症のある患者

[1)~3) : これらの疾患及び症状が悪化するおそれがある。]

## 【組成】

本剤は、半夏瀉心湯の水製エキスに賦形剤(トウモロコシデンプン)を加えて製したものである。

本剤 6.0g中

日局ハンゲ・・・・・・・・5.0g	日局カンゾウ・・・・・・・・2.5g
日局オウゴン・・・・・・・・2.5g	日局オウレン・・・・・・・・1.0g
日局カンキョウ・・・・・・・・2.5g	日局タイソウ・・・・・・・・2.5g
日局ニンジン・・・・・・・・2.5g	

上記の混合生薬より抽出した半夏瀉心湯の水製エキス 3.6gを含有する。

## 【性状】

本品は、褐色の細粒で特異なおいと味を有する。(天然原料を使用するため、色調、味、においがロットにより若干異なることがあります。)

医薬品識別コード: TY-094

## 【効能・効果】

みぞおちがつかえ、ときに悪心、嘔吐があり食欲不振で腹が鳴って軟便または下痢の傾向のあるものの次の諸症:

急・慢性胃腸カタル、醗酵性下痢、消化不良、胃下垂、神経性胃炎、胃弱、二日酔、げっぷ、胸やけ、口内炎、神経症

## 【用法・用量】

通常 大人 1日 3回 1回 2.0g(1包)を空腹時経口投与  
年齢症状により適宜増減する。

## 【使用上の注意】

### 1. 重要な基本的注意

- 1) 本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
- 2) 本剤にはカンゾウが含まれているので、血清カリウム値や血圧値等に十分留意し、異常が認められた場合には投与を中止すること。
- 3) 他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。

### 2. 相互作用

併用注意(併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
(1)カンゾウ含有製剤 (2)グリチルリチン酸及びその塩類を含有する製剤 (3)ループ系利尿剤 フロセミド エタクリン酸 (4)チアジド系利尿剤 トリクロルメチアジド	偽アルドステロン症があらわれやすくなる。また、低カリウム血症の結果として、ミオパシーがあらわれやすくなる。〔「重大な副作用」の項参照〕	グリチルリチン酸及び利尿剤は、尿管でのカリウム排泄促進作用があるため、血清カリウム値の低下が促進されることが考えられる。

### 3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。

## 1) 重大な副作用

①間質性肺炎:発熱、咳嗽、呼吸困難、肺音の異常(捻髪音)等があらわれた場合には、本剤の投与を中止し、速やかに胸部 X 線等の検査を実施するとともに副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置を行うこと。また、発熱、咳嗽、呼吸困難等があらわれた場合には、本剤の服用を中止し、ただちに連絡するよう患者に対し注意を行うこと。

②偽アルドステロン症:低カリウム血症、血圧上昇、ナトリウム・体液の貯留、浮腫、体重増加等の偽アルドステロン症があらわれることがあるので、観察(血清カリウム値の測定など)を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。

③ミオパシー:低カリウム血症の結果としてミオパシーがあらわれることがあるので、観察を十分に行い、脱力感、四肢痙攣・麻痺等の異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。

④肝機能障害、黄疸:AST(GOT)、ALT(GPT)、Al-P、 $\gamma$ -GTPの上昇等を伴う肝機能障害、黄疸があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

## \*2) その他の副作用

	頻度不明
過敏症 注1)	発疹、蕁麻疹等

注1) このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。

## 4. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

## 5. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊娠中の投与に関する安全性は確立していないので、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。

## 6. 小児等への投与

小児等に対する安全性は確立していない。〔使用経験が少ない〕

## \*\*7. 適用上の注意

服用時:口内炎に対して本剤を使用する場合は、口にふくんでゆっくり服用することができる。

## 【取扱い上の注意】

薬の品質を保つため、直射日光を避け、できるだけ湿気の少ない涼しいところに保管してください。

## 【包装】

500g, 2.0g×252包(分包品)

## 【参考】

原典:傷寒論

参考文献:「臨床応用漢方処方解説」矢数道明著

「経験漢方処方分量集」大塚敬節、矢数道明監修

「漢方診療の実際」大塚敬節、矢数道明、清水藤太郎共著

「症候による漢方治療の実際」大塚敬節著

## 【文献請求先】

株式会社 東洋薬行 学術部

〒113-0033 東京都文京区本郷 6-19-7

TEL 03-3813-2263 FAX 03-3813-0202

# 株式会社東洋薬行

東京都文京区本郷 6-19-7